

# 第3回

## 藁科地域小中学校統合準備委員会を開催しました！

令和5年5月30日  
午後7時～8時40分  
於 わらびこ

令和5年度になり、最初の藁科地域小中学校統合準備委員会を開催しました。  
自治会関係者、学校やこども園のPTA、保護者会の皆さんなどが委員となり、学校や教育委員会と一緒に、藁科地域の学校再編について話し合っています。



### I 事務局説明(主なポイント)と委員からのご意見

#### (1) 令和6年度小学校統合に向けた検討内容について

##### ① 学校名称について

事務局説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶令和6年4月に開校する新たな小学校名は、「<u>中藁科小学校</u>」とする</li><li>▶令和6年度開校の小学校では、令和10年度の小中学校の統合を見据え、中藁科地区(中藁科小・水見色小)と清沢地区(清沢小)の「ひと・こと・もの」について体系的に学ぶことができるよう、教育活動(わらしな学等)を検討していく</li><li>▶令和10年度開校の新しい学校の名称については、地域や保護者の皆さんと協議の上、今後決定する</li></ul>
委員意見	▶特になし

##### ② 通学支援策について

事務局説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶<u>路線バスの活用を軸に、並行してスクールバスの運行についても検討を進めていく</u></li><li>▶路線バスの時刻変更等について、しずてつジャストライン(株)と引き続き協議を行っていくが、時刻が変更されない場合は、バスがない時間帯の通学方法等について検討する必要がある</li><li>▶スクールバスを運行する場合、学校の時間割に合わせた運行時間を設定し、子どもたちの安全に配慮した乗降場所や待機場所、スクールバス利用の対象者等を検討する</li></ul>
委員意見 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶基本的には路線バスを利用し、バスがない時間帯はスクールバスやスクールタクシー等で補ったらどうか</li><li>▶スクールバスの運行の有無に関わらず、地域の足として路線バスが残るよう、しずてつジャストライン(株)に働きかけをしてほしい</li><li>▶子どもの安全安心を考えたら、防犯面からもスクールバスの方がよいと考える保護者は多い</li></ul>

##### ③ 放課後の子どもたちを支援する2つの事業について

事務局説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶放課後子ども教室は、全児童を対象として各小学校で実施されており、令和6年度からの新しい小学校でも引き続き実施していく予定</li><li>▶放課後児童クラブは、就労等により保護者が放課後家庭にいない児童を対象とし、現在は中藁科小でのみ開設されている。令和6年度からの申込時期等については次回の統合準備委員会で説明する (3小学校の地域学校協働活動推進員の皆様より)</li><li>▶保護者や児童クラブの先生も参加し、子どもたちと一緒に活動している</li><li>▶主に図書室や校庭、体育館などを利用し、色々な体験活動や交流を行うことができている</li><li>▶令和6年度からの活動に向けて協議していくが、地域の皆様のご協力をぜひともお願いしたい</li></ul>
委員意見 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶通学支援策の決定を待っていると、児童クラブの申込期限に間に合わなくなるが、急に申し込まなくてはならなくなった家庭については、どのように対応したらよいのか</li><li>▶新たに児童クラブを利用する家庭にとっては経済的な負担が増えるが、何か補助のようなものはあるのか教えてほしい</li></ul>

## (2) 令和10年度小中学校統合に向けた検討内容について

### ①令和5年度薫科中グループの小中一貫教育構想図について

事務局説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶令和5年度の薫科中グループは、昨年度から引き続き、学校教育目標を「自立する子」として学習活動を行っている</li><li>▶今後、令和10年度の小中統合を見据えた、令和6年度の新たな教育構想図を検討していく</li></ul>
委員意見	<ul style="list-style-type: none"><li>▶特になし</li></ul>

### ②義務教育学校について

事務局説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶義務教育学校とは、小学校6年間、中学校3年間の義務教育期間を一つにした9年間の学校であり、1人の校長のもと、1つの教職員組織が置かれる</li><li>▶基本的には小学校と中学校の学習を行うが、小学校と中学校の学習内容を少し組み替えたり、中学校(小学校)の先生が小学校(中学校)で授業を実施したりするなど、柔軟に対応しやすくなる</li></ul>
委員意見 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶薫科の子どもはこども園から中学校まで、限られた人間関係の中で育つので、色々な先生と接することができるがよい</li><li>▶これから話し合っていく中で、現行の小中一貫校との違いや、義務教育学校のメリット・デメリットを教えてほしい</li><li>▶9年かけて子どもたちを育てるのであれば、それに合わせて先生も9年間は在籍してほしい</li></ul>

### ③新しい学校施設の設計に向けての検討の進め方について

事務局説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶令和6年度からの新校舎の設計にあたり、新しい学校に期待する教育や、施設のイメージについて、住民アンケートを行い、広く意見を聞いていく</li><li>▶アンケート結果をもとに、新しい学校の施設イメージ案を作成し、今後の統合準備委員会で協議していく。今後、地元説明会でも広く地域の皆様にお知らせする</li></ul>
委員意見 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"><li>▶アンケートでは子どもたちにも意見を聞いてほしい</li><li>▶未就学児の保護者や、これから子どもを育てていく世代(高校生等)等の若い人たちをアンケートの対象としてほしい</li></ul>



## 2 今後の統合準備委員会のスケジュール案

第4回 7月12日(水)

第5回 10月16日(月)

第6回 令和6年1月15日(月)

### 問い合わせ(事務局)

■静岡市教育委員会 教育総務課 教育政策係 電話：054-354-2505  
■静岡市立薫科中学校 電話：054-279-0120

